

## 平成26年黒石市教育委員会第1回定例会会議録

日時及び場所 平成26年1月27日(月)午後1時30分 黒石市産業会館 大会議室

会議出席委員 委員長 村上良子  
1番 津軽承公  
2番 中村康  
3番 千葉小夜子  
4番 阿保淳士(教育長)

会議欠席委員 なし

### 説明のために出席した者の職氏名

教育部長 奈良岡 和 保  
指導課課長 宮崎 晃 一  
学校教育課長 山谷 博文  
社会教育課長 駒井 昭 雄  
文化課長 成田 秀 範  
学校教育課総務係長 中田 智 子(書記)

### 会議に付した案件

- 第1 会議録の承認
- 第2 会期の決定
- 第3 会議録署名委員の指名
- 第4 教育長等の報告
- 第5 議案第1号 平成25年度黒石市高校生ボランティア活動賞受賞者の決定について
- 第6 議案第2号 平成25年度黒石市スポーツ賞等受賞者の決定について
- 第7 議案第3号 平成25年度黒石市文化賞等受賞者の決定について

### 会 議 の 顛 末

開会宣告(午後1時30分)

#### 第1 会議録の承認

平成25年黒石市教育委員会第12回定例会の会議録については、全員異議なく、原文を承認する。

#### 第3 会期の決定

会期については、平成26年1月27日の1日とすることで、委員全員異議なく、決定する。

#### 第4 会議録署名委員の指名

村上委員長が「中村康委員」と「阿保淳士委員」を指名する。

#### 第5 教育長等の報告

##### 1 平成26年度黒石市重点事業（教育関係事業）案について

平成26年1月7日の黒石市長の年頭記者会見において発表した平成26年度の黒石市重点事業案の中の教育関係の事業について報告する。

##### (1) 算数・数学「UPる」事業（新規・指導課）

目的及び効果	全国学力・学習状況調査及び県学習状況調査結果から、ここ数年の本市児童生徒の学力傾向は、小学校の算数及び中学校の数学に課題が見られる。特に、算数・数学は、当該学年の学習内容の定着が十分であるかどうか、その後の学習意欲や学力の定着・向上に大きな影響を与える教科である。 本市においても、小学校での基礎的事項の理解不足が学力差となり、そのことが、中学校における数学の理解不足にもつながっている。 そこで、本市小・中学校に算数・数学の学習をサポートする『「UPる先生』を配置し、児童生徒に対してきめ細やかな指導を行うとともに、教員の算数・数学の指導力を高めるための研修会事業を通して課題解決を図る。
事業内容	小中学校における算数・数学の指導員配置及び教員の指導力向上のための研修会事業の実施

##### (2) 地域・家庭教育向上事業（継続・社会教育課）

目的及び効果	家庭教育に関する学習機会の充実や青少年健全育成に関わる人の意識高揚を図り、家庭の教育力向上に努める。また、社会教育関係団体へ学習の機会を提供し、学校及び地域の連携による地域教育力の向上を図る。
事業内容	市民を対象とした講座等の実施及び社会教育関係団体に対する情報交換の場と学習機会の提供

##### (3) 青少年人材育成事業（継続・社会教育課）

目的及び効果	人間形成の発達段階ごとに小学生・中学生を対象に社会に対応ができる人材の育成を図り、各公民館と連携し地域で子どもを育む機運を高める。
事業内容	小中学生を対象にした体験学習会や研修会の開催

##### (4) 旧松の湯再生事業（継続・文化課）

目的及び効果	旧松の湯を公開し、活用することを目的に復原する。各種文化事業の実施、観光情報等の提供、市民・観光客の交流の場として、また、地元商店街
--------	--

	や地域コミュニティの活動拠点として活用することにより、まちなかの賑わいの創出と活性化に寄与することが期待できる。
事業内容	旧松の湯再生工事及び中庭復原工事の実施

(5) 伝統的建造物群保存事業・防災対策事業（継続・文化課）

目的及び効果	重要伝統的建造物群保存地区である中町の景観や建造物を、貴重な文化遺産として後世に伝えるため耐震や防火性能を高め災害に強い地域にすることを目的とする。 防災対策事業を進めることにより、長期的に文化遺産を保存し、また、観光資源として活用することにより、市街地の活性化に効果が期待できる。
事業内容	重要伝統的建造物群保存地区の防災設備整備及び消火栓ポンプ室等の設置

日程第5～日程第7は、人事案件の為、秘密会にしたい旨委員長から発議があり、委員全員異議なく、これを可決する。

公開審議を終了し、秘密会に移る。

公開審議終了（午後1時40分）

